



小山 陽子さん

岩手県
3年次編入学 4月生
年代：60歳代（取材時）
卒業：2021年3月
職業：主婦

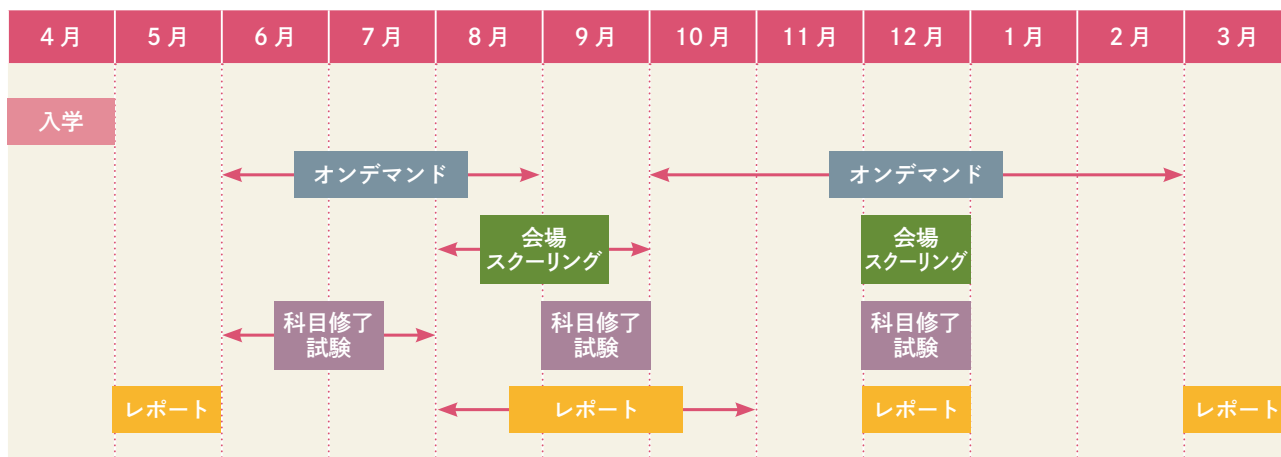
Q 印象に残っている講義

印象に残っている講義は、はじめてスクーリングに参加した心理学実験 I Aの半澤利一先生の授業です。内容は「ミューラーリヤー錯視」の実験です。参加している隣の方と協力し、特別な器具を使い、指示に従って互いのデータをとるものです。通信教育では、ひとりで学習を進めなくてはならないのです。この授業は相手がいる、対面してその経過を話し結果を書き留めていくというもので、とても楽しく、深く学習できたことを覚えています。

Q 大学での学びが生活の場や職場にいかされた場面

私は2年間心理学の勉強をしました。大学の学びが生活の場にかされたことは、数多くあります。特に、子どもの成長過程を学んだことにより、同居している3歳と5歳の孫の成長にとっても参考になっていますし、孫たちの心身の発達を余裕をもって客観的に見ることができています。振り返ってみて、私も子どもを2人育てましたが、当時は無我夢中で冷静に子どもの発達を見ることができなかつたように感じます。

1年目に学習したこと





柏木 日樹さん

宮城県

3 年次編入学 10 月生

年代：30 歳代（取材時）

卒業：2020 年 9 月

職業：医療関係

Q 印象に残っている講義

カウンセリングの講義が印象的でした。精神分析や来談者中心療法などカウンセリング理論の歴史を振り返ると同時にその技法を学びました。演習では、クライアントの話を質問なしで共感的に聞き続けるグループワークも体験し、話を聴くとはどういうことなのかを改めて考える機会になりました。加えて、認知行動療法を用いた問題解決の事例紹介もあり、より実践的に心理学を問題解決にいかしたいと思えるきっかけになりました。

Q 大学での学びが生活の場や職場にいかされた場面

私は医療の仕事の場面で学びがいかされたと思います。不安がある患者に対し、心理的にどんな問題を抱えているかをアセスメントして関わられるようになりました。カウンセリングの技法を用いて受容的な態度で共感的に傾聴を行い、患者が何を伝えたいのかに関心を向けることで、普段では聞けなかった疾患や治療に対する思いを聞けることがありました。回復にむけた治療への動機づけを行うにあたり、学んだことが役立ったと感じています。

1 年目に学習したこと ※ 10 月生の 1 年目は 10 月～翌年 9 月

